

2020年10月11日(日)

# バードウォッチング入門⑦

～秋の渡り鳥～

秋は様々な野鳥にとって渡りの時期にあたります。干潟やヨシ原など様々な環境がある園内で、どのような渡り鳥が利用するのかを確かめながら、野鳥の渡りについて学びました。



最初はレクチャールームで資料説明。留鳥、夏鳥、冬鳥、旅鳥の違いなど、鳥の渡りについて紹介しました。



ビジターセンターの前で、公園ボランティアグループ「葦の会」のメンバーから双眼鏡の使い方の説明がありました。



↑オオバン

↑ヒドリガモ

淡水池ではオオバンとヒドリガモを観察。オオバンは園内で繁殖したこともある留鳥ですが、秋から冬にかけて多く見られます。



干潟で魚を食べるミサゴを観察。周辺で繁殖が確認されていますが、北から渡って来る個体もいて、冬の方がよく見られます。



ヨシ原の野鳥を観察。旅鳥のノビタキやコヨシキリが飛来する時期ですが、行事中には確認できませんでした。



干潟でエサを探すアオアシシギを観察。旅鳥ですが、山口湾では越冬する個体もいます。



樹林から飛び立つヒヨドリの群れを確認。留鳥ですが北から渡って来る個体もいて、秋には群れで渡る様子が見られます。



観察展望棟から観察。土路石川河口ではアオアシシギの群れが採餌中でした。



ヨシ原池ではカモ類を観察。最近になって飛来数が増え、当日は8種のカモが確認できました。



西側の樹林帯では留鳥のコゲラが見られました。園内では樹木にコゲラが掘った穴が見られ、繁殖の可能性があります。

**留鳥を含めて様々な野鳥を観察し、それぞれの好む環境や渡りの違いについて紹介しました。まだまだ渡りの時期は続くので、この時期ならではの野鳥を探してみてください。**